

3 . 河川の整備の実施に関する事項

3.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により 設置される河川管理施設の機能の概要

近年において洪水被害が頻発している光満川下流部伊吹地区への家屋や鉄道への浸水を防止することを目的とする。

過去の主要洪水規模、光満川流域の社会経済的重要性を考慮し、10年に1回程度の確率で発生すると予想される洪水に対し河川改修を行う。

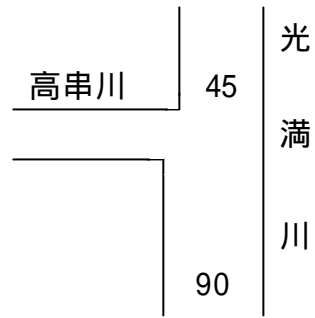
位置；須賀川合流点より上流1,740m区間

延長；1,740m

整備内容；

高串川合流点から上流区間で $45\text{m}^3/\text{s}$ 、下流区間で $90\text{m}^3/\text{s}$ を流下出来る河道を整備する。





J R 橋付近より下流は既設護岸を生かした根継ぎとし、上流は左岸側を拡幅し親水性の高い緩傾斜護岸を設置し、河積の確保を図る。

治水上不要となった落差工をなくし、魚類等が行き来出来る河床とする。